

## ある時代の交通事故

許 仙

(訳 横田勤)

ある雨の日の午後、「**道德**」という名の女の子が街でくず拾いをしていた。彼女は「**公民路**」を歩いているが、**公民路**には捨える物はあまりない。女の子は「**民主路**」へ行ってちょっと運試しをしてみようと思った。**民主路**と**公民路**は並行していて、前方の信号のところで「**社会路**」と交差していて、曲がると**民主路**へ行ける。だが、彼女が**社会路**との交差点につくや否や、思わぬことが発生した。「**拼爹時代**(父親頼み)」という車名のスポーツカーに轢かれたのだ。くず拾いの女の子は自分がいつもあさっているごみ箱のように飛ばされ、その前の大通りに倒れ、再度そのスポーツカーに轢かれた。だがその車は何事もなかったように、悠然と走り去った。

女の子は血の海の中に倒れている……

最初に女の子のそばを通りかかったのは母親と娘で、母親は「**良知**」、娘は「**誠信**」という名であった。娘は血の海の中の女の子を指差して母親に見せようとした。母親はちょっと見たが、なんと娘の手を引いて、倒れている女の子に近づかせないようにした。そして頭を低くしてちょっと見て、娘を引っ張りながら急いで離れて行った。

娘は小さな顔を上に向けながら、納得できないような顔で母親を見た。まるで、「どうしてママは、教えてくれたことと自分がやっていることがこのようにはっきりと違っているの」と尋ねているようだった。

女の子は血の海の中で倒れている……

三番目の通行人は老人で、名を「**公德**」といった。彼自身、道を歩くときはいつもよろよろとしているのだ。人の助けがいる。女の子を助けるようなどんな能力があるというのか？ 老人は一声ため息をついて、頭を横に振りながら、女の

子のそばから立ち去った。

女の子は血の海の中で倒れている……

四番目に通りかかったのは若い女性で、名を「**知性**」といった。ファッションブルないでたちで、しゃなりしゃなりとやって来た。そしてまた、少なくとも十センチはあるハイヒールの音をカッカカッと響かせ、しゃなりしゃなりと立ち去った。

女の子は血の海の中で倒れている……

第五番目は若い男で、「**信仰**」という名であった。彼は女の子の前に歩いてきて、おいおい、と何回か声をかけ、女の子に「金はあるか」と尋ねた。「もしぼくがお前を助けたら、どんなお礼をしてくれるかい？」女の子がちっともこたえないのを見て、若い男は自嘲して、「お前が着ている服を見ると、お金はないんだろうな」と言った。そして言い終わると頭を横に振って行ってしまった。

女の子は血の海の中で倒れている……

第十八番目の通行人がやって来て、そこでやっと女の子は救助された。「**同情**」という名のこの中年の女性は清掃作業員であり、彼女は女の子を見るやすぐほうきを放り投げて、飛んで行って彼女を助け起こし、大声で叫んだ。「誰か早く来て！ 女の子が車にぶつけられた！ 助けて！」この時暗雲が一面に広がり、空はだんだん暗くなり、彼女の叫び声はまるで大海の中の石つぶてのように、わずかの反応も呼び起こさなかった。孤立無援の彼女はやっと警察へ通報しなければと思ひ至り、警察は女の子の傷の状態と事故の具体的地点を尋ね、急いでやって来た。

続いて来たのは女の子の母親で、彼女は「**お金**」という名の男の子をおんぶしていて、あたふたと捜しに来たのだ。血の海の中に倒れている長女を見ると女の子の母親は**公民路**に座り込み、泣いたり叱ったり、このような運の悪い娘を生んだ自分の不幸を罵った。さらに、女の子は聞きわけがなく一日かかっても物を拾うこともできず、至る所で問題を引き起こす、と責めていた。

女の子はすぐに警察車両で病院に運ばれた。にわか雨がすぐに降ってきて**公民路上**の血の汚れは雨水ですっかり洗い流され、まるで何事も発生しなかったようにきれいになった。

女の子が交通事故に遭ったニュースはすぐに伝わった。世の中の大勢の人が騒ぎ立てた。女の子が倒れた後に、彼女のそばを相次いで通った者の名は**良知**、**誠**

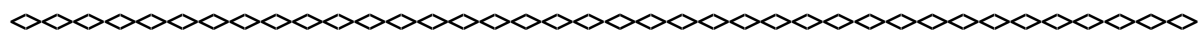
信、公德、知性、信仰、尊嚴、仁慈、憐憫、希望、文明、勇氣、高尚、人道、博愛、善良、価値と理想で、この十七名の高尚な人物はなんと見て見ぬふりをし、血の海の中に置かれている女の子の生死を顧みず、十八番目の人——同情が現れて、女の子はやっと救いを受けることができた。時はまさに当地の政府が「社会の核心价值体系の建設」を深く掘り下げて展開していて、正義感に燃えて勇敢に行動した環境衛生の作業者に対して一万元という多額の賞金を与えた。ある者はしきりに、この事を前もって知っていたならば、その一万元は自分のものだった、と後悔し、ある者は関係ない、ある者は厄介なお金は要らないと言った。だが若い男は公然と憤懣やるかたなく、「もし前に十七人の私たちのような人間がいなければ、彼女は労せずしてこの一万元を手にしたか？」と不平を言った。

ほどなく事故を起こした張本人は逮捕された。聞くところによると「×二代」で——金持ちの二代目か役人の二代目か、それとも別の何とかの二代目かは知らないが——いずれにせよ逮捕されたとき、この男はすごい剣幕で威圧し、大声で「ぼくのパパは×××なんだぞ！」と叫んだそうだ。

可哀想なその女の子はまだ依然として意識不明の状態にあり、なお危険から脱してはいない。

主治医の診断によると、道德はたとえ意識が戻ったとしても、今後も体に障害が残る可能性がある、ということだった。

(『中国微型小説排行榜(2012)』百花洲文芸出版社，南昌市，2013，pp. 51-53.)



(中国語原文)

## 一个时代的车祸

许 仙

一个雨天的下午，有个小名叫道德的女孩，正在都市里拾荒。她走在公民路上，但公民路上捡不到啥东西。女孩想去民主路上碰碰运气。民主路与公民路并行，前面有红绿灯的地方就是社会路口，拐个弯就到了民主路。她刚到社会路口就发生了意外，被一辆车牌叫“拼爹时代”的跑车撞了。这个拾荒的女孩就像她经常掏的垃圾桶似的飞了出去，落在前面的马路上，又再一次被跑车碾过。而那辆跑车就跟没事似的，悠闲地扬长而去。

女孩倒在血泊中……

最先经过女孩身边的是一对母女，母亲叫良知，女儿叫诚信。女儿指着血泊中的女孩叫妈妈看，母亲看了一眼，却拉住女儿的小手，不让她靠近。母亲低下头看了看，赶紧拉着女儿离去。

女儿仰着小脸，一脸疑惑地望着母亲，似乎在问，为什么妈妈教育她的和她自己所做的是如此截然不同呢？

女孩倒在血泊中……

第三个路人是个老人，叫公德。他自己走路都跌跌撞撞的，需要人搀扶，哪有什么能力抢救女孩呢？老人叹息了一声，摇摇头，也从女孩身边走了。

女孩倒在血泊中……

第四个路人是个少妇，叫知性。她打扮入时，一路婀娜多姿而来，又一路婀娜多姿而去，起码有十公分高的高跟鞋敲得马路嗒嗒响。

女孩倒在血泊中……

第五个路人是个青年男子，叫信仰。他走到女孩跟前，“喂喂”地叫了几声，问女孩有钱吗？如果我救了你，你怎么谢我？见女孩毫无反应，青年男子又自嘲道，瞧你这身衣服，想必也没什么钱。说罢他摇摇头，也走了。

女孩倒在血泊中……

直到第十八个路人，女孩才被救。这个叫同情的中年妇女，是个环卫工人，她见到女孩就丢下扫帚，扑过去扶她，并大声地喊：“快来人啦！这个女孩被车撞了！救命啊！”这时候乌云密布，天越来越暗，她的呼喊犹如石沉大海，毫无反应。孤立无助的她最终想到了报警，警方询问了女孩的伤势和出事的具体地点，迅速赶来了。

随后赶来的是女孩的母亲，她背着一个名叫钱的男孩，匆匆找来了，看到血泊中的大女儿，女孩的母亲竟一屁股坐在公民路上，又哭又骂，哭自己命苦，生了这么个倒霉女儿；又骂女儿不懂事，成天捡不到东西还到处闯祸……

女孩很快被警车送去医院，阵雨也很快就落了下来，公民路上的血污被雨水冲刷干净，干净得就像什么事情都没有发生过。

女孩被撞的消息很快就传开了，天下一片哗然。当女孩倒下之后，从她身边先后走过的路人良知、诚信、公德、知性、信仰、尊严、仁慈、怜悯、希望、文明、勇气、高尚、人道、博爱、善良、价值和理想，这十七位高贵

的人物却视而不见，置血泊中的女孩的生死于不顾，直到第十八个人——同情的出现，女孩才得以援救。时值当地政府深入开展社会核心价值体系建设，对见义勇为的环卫女工重奖了一万元。有人后悔不已，早知如此，那一万块钱就是自己的；有人不屑；有人嫌钱烫手；而青年男子公然愤愤不平道：“要不是我们前面十七个人，她能白得这一万块钱吗？”

不久，肇事者被捉拿归案。据说是个：“×二代”——不知是富二代，还是官二代，还是别的什么二代——反正被捕时，此人盛气凌人，大吼大叫：“我爹是×××”！

可怜那个女孩，至今仍处于昏迷状态，尚未脱离危险。

据主治医生诊断：“道德即使能苏醒过来，今后也可能变成残疾。”

